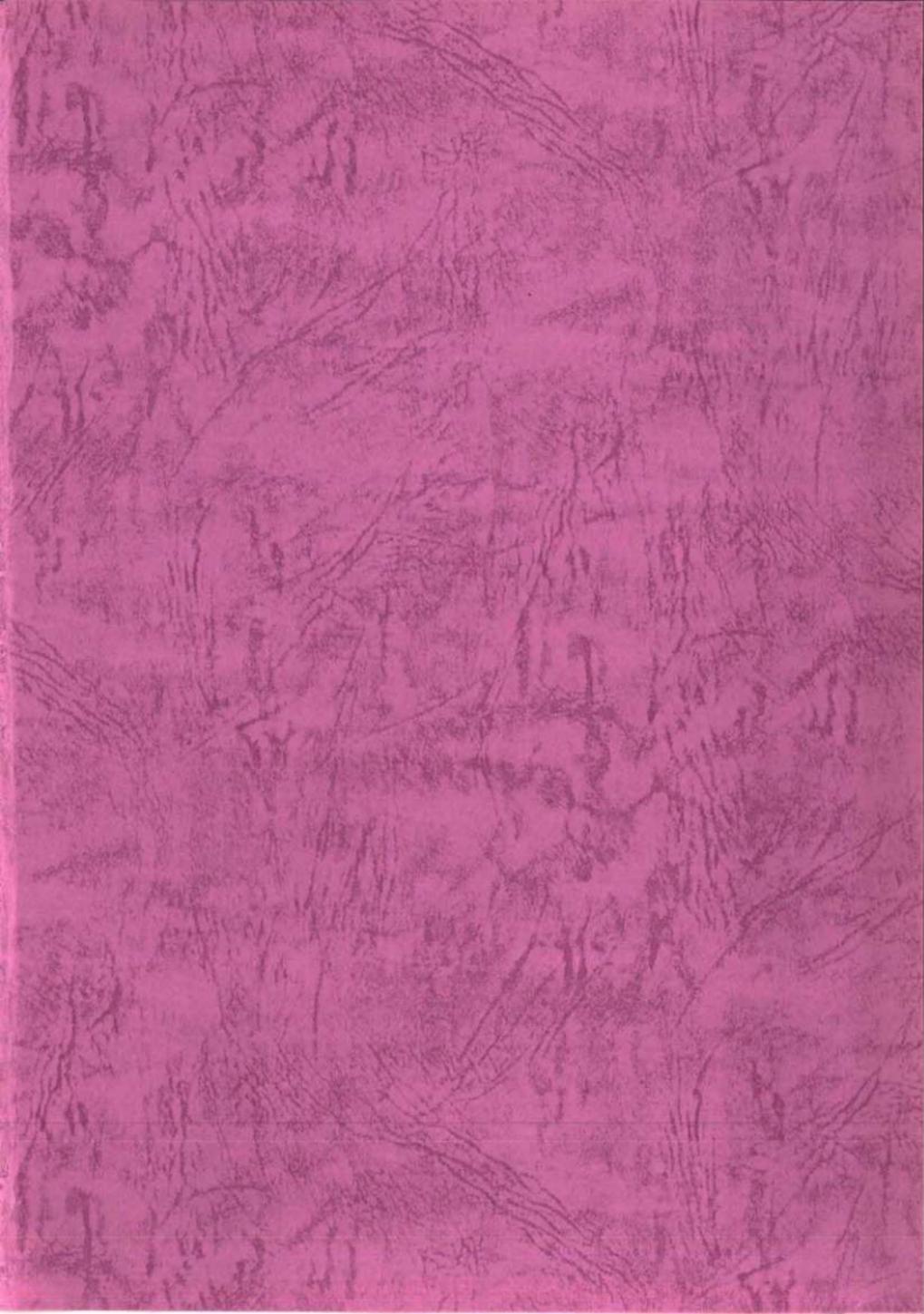


田尻町文化財調査報告 第10集

## 田尻町内遺跡群発掘調査概要 5

2004.3

泉南郡田尻町教育委員会



## はじめに

人間が住みよい環境を創造するために行われる開発がもたらす、文化財や自然に対する影響は大きいものがあります。特に埋蔵文化財は地中に包蔵されていて普段私達の目に触れるることは、ほとんどありません。地面の掘削を前提とし、埋蔵文化財を破壊してしまう開発と直接に結びつく大きな問題です。

遺跡には、田尻町の先人達のメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の町民、更には未来の町民に伝えてゆかなければなりません。

本書は、平成15年度埋蔵文化財国庫補助事業として田尻町教育委員会が実施した発掘調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するにあたり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げるとともに、今後とも文化財保護にご理解とご協力をお願い申しあげます。

平成16年3月31日

泉南郡田尻町教育委員会  
教育長 道浦 達久

## 例　　言

1. 本書は、泉南郡田尻町教育委員会が平成15年度に国庫補助金を受けて実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。
2. 調査は泉南郡田尻町教育委員会社会教育課文化財保護係 中野篤史、阪田裕美子（嘱託）を担当者として、平成15年4月1日に着手し、平成16年3月31日に終了した。
3. 本書における図面の標高はT.P.（東京湾平均潮位）を用い、また方位については磁北を示す。
4. 調査の実施にあたっては、下記の諸氏の参加協力を得た。  
高松広志、藤田 功、河瀬一裕
5. 現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。  
感謝の意を表する。
6. 本書の執筆、編集は中野がおこなった。
7. 本書は、平成15年4月から平成15年12月までに実施した調査を掲載し、平成16年1月以降分については、次年度の概要報告書に掲載する。

# 目 次

## 第1章 文化財調査の状況

1. 田尻町の位置と環境 .....	1
2. 平成15年度の埋蔵文化財調査の現状 .....	1
3. 各遺跡の概要 .....	2

## 第2章 調査の概要

各種開発確認調査01 .....	5
各種開発確認調査02 .....	6
各種開発確認調査03 .....	8
各種開発確認調査04 .....	11

## 第3章 調査のまとめ

調査のまとめ .....	13
--------------	----

報告書抄録 .....	卷末
-------------	----

## 挿 図

図1 田尻町位置図 .....	1
図2 遺跡分布図 .....	4
図3 調査地点位置図（1/10,000、各種開発確認調査01） .....	5
図4 トレンチ設定図（各種開発確認調査01） .....	5
図5 トレンチ断面図・平面図（各種開発確認調査01） .....	5
図6 出土遺物実測図（各種開発確認調査01） .....	6
図7 調査地点位置図（1/10,000、各種開発確認調査02） .....	6
図8 トレンチ設定図（各種開発確認調査02） .....	6
図9 Tr.1断面図・平面図（各種開発確認調査02） .....	7
図10 Tr.2断面図・平面図（各種開発確認調査02） .....	7
図11 出土遺物実測図（各種開発確認調査02） .....	8
図12 調査地点位置図（1/10,000、各種開発確認調査03） .....	9
図13 トレンチ設定図（各種開発確認調査03） .....	9
図14 Tr.1断面図・平面図（各種開発確認調査03） .....	10
図15 Tr.2断面図・平面図（各種開発確認調査03） .....	10
図16 Tr.3断面略図（各種開発確認調査03） .....	11
図17 Tr.3出土遺物実測図（各種開発確認調査03） .....	11

図18	調査地点位置図（1/10,000、各種開発確認調査04）	11
図19	トレント設定図（各種開発確認調査04）	12
図20	Tr.1断面図（各種開発確認調査04）	12
図21	Tr.2断面図（各種開発確認調査04）	13

## 挿 表

表 1	過去 5 年間の届出件数表	1
表 2	遺跡別発掘届出件数表	1
表 3	届出・通知・試掘依頼一覧	2

## 図 版

図版 1	調査地遠景（各種開発確認調査01）	トレント 1 全景（各種開発確認調査01）
図版 2	調査地遠景（各種開発確認調査02）	トレント 1 全景（各種開発確認調査02）
図版 3	トレント 2 全景（各種開発確認調査02）	調査地遠景（各種開発確認調査03）
図版 4	トレント 1 全景（各種開発確認調査03）	トレント 2 全景（各種開発確認調査03）
図版 5	トレント 1 全景（各種開発確認調査04）	トレント 2 全景（各種開発確認調査04）
図版 6	レンガ造り基礎跡（各種開発確認調査04）	出土遺物（各種開発確認調査01、02、03）

# 第1章 文化財調査の状況

## 1. 田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の中北部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域の面積は約3.9平方kmである。海岸線に並行して南海本線が、町城南部を国道26号線がとおり、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を樅井川が流れ大阪湾に注いでいる。

## 2. 平成15年度の埋蔵文化財調査の現状

田尻町はこれまで、近隣市町村と比較してあまり開発が及ばなかった地域であったが、近年は分譲住宅等ミニ開発が多くなりつつある。平

成15年度における文化財保護法第57条の2、第57条の3に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は、5件である。そのうち、民間開発が1件、個人住宅建築が4件、公共工事が0件となっている。また、遺跡範囲外での各種開発確認調査のための試掘依頼の件数は4件となっている。なお、工事立会中に新規に遺跡を発見したので、遺跡発見通知が1件あり、田尻遺跡の範囲拡大がおこなわれている。過去5年間の文化財保護法関係の届出件数は表1、表2のとおりである。また、平成15年度調査地は表3のとおりである。



図1 田尻町位置図

	個人 住宅	民間 開発	公共 工事	合計
平成11年度	4	4	1	9
平成12年度	4	3	2	9
平成13年度	2	3	7	12
平成14年度	8	2	4	14
平成15年度	4	1	1	6

(遺跡発見届出を含む)

表1 過去5年間の届出件数表

番号	遺跡名	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
1	田尻遺跡	6	4	9	13	5
2	夫婦池遺跡			1		
3	船岡山遺跡			2	1	
4	嘉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡					
6	藤波遺跡					
7	吉見藩陣屋跡	3	2	2	1	
8	羽倉崎遺跡					1
9	樅井西遺跡					
10	林寺遺跡					

(遺跡発見届出を含む)

表2 遺跡別発掘届出件数表

	申請者名	申請地	原因	遺跡名	指導事項	検出遺構	出土遺物
1	民間開発事業者	田尻町大字嘉祥寺703番地の1の一部	分譲住宅建築	範囲外	開発確認調査	なし	土師器、須恵器
2	個人	田尻町大字吉見433番地の4、433番地の8、433番地の6の一部	個人住宅建築	田尻遺跡	慎重工事		
3	田尻町長水野和夫	川尻町大字嘉祥寺432番地の1	保育所建設	範囲外	開発確認調査	近世土坑	須恵器、陶磁器
4	個人開発事業者	田尻町大字吉見384番地、386番地、387番地の1の一部	福祉施設建設	範囲外	開発確認調査	近世土坑	須恵器、土師器、瓦器、陶磁器
5	個人	田尻町大字吉見419番地の9	個人住宅建築	田尻遺跡	慎重工事		
6	個人	田尻町大字吉見253番地の24	個人住宅建築	田尻遺跡	慎重工事		
7	民間開発事業者	川尻町大字嘉祥寺1120番地の12、1120番地の13、大字吉見705番地の4、705番地の9、1012番地の7の一部	分譲住宅建築	範囲外	開発確認調査	なし	なし
8	田尻町長水野和夫	田尻町大字吉見376番地～399番地の4	下水道管埋設	新規発見田尻遺跡の範囲拡大	発掘調査	土坑、溝	弥生土器、須恵器、土師器、瓦器、陶磁器
9	民間開発事業者	田尻町大字嘉祥寺3388番地の5、3395番地の1	物販店舗建設	羽倉崎遺跡	発掘調査		
10	個人	田尻町大字吉見253番地の25	個人住宅建築	田尻遺跡	慎重施行		

\*人文字は文化財保護法に基づく届出・通知

表3 届出・通知・試掘依頼一覧

### 3. 各遺跡の概要

1. 田尻遺跡 田尻遺跡は、本町の中央部に標高5m～7mにかけて位置する古墳時代から中世にかけての遺物散布地である。これまでに19ヵ所の調査を実施しているが、各調査の調査面積が狭小なため、遺跡の性格は不明である。これまでの調査で中世から近世にかけての粘土採掘場や古墳時代から奈良時代ころと思われる小規模な溝などが、検出されている。須恵器・土師器・瓦器・陶磁器・瓦などの古墳時代から近世にかけての遺物が出土している。

2. 夫婦池遺跡 夫婦池遺跡は、田尻町の南部、泉佐野市にまたがる、標高7m～9mにかけて位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝状構造、井戸、柱穴群、スキ溝が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器・陶磁器などが出土している。

3. 船岡山遺跡 船岡山遺跡は、田尻町の東部、泉佐野市にまたがる、櫛井川の右岸に沿う沖積段丘上に位置する縄文時代晚期から弥生時代前期にかけての遺物包含層がある遺跡である。これまでに大阪府教育委員会、泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝、土壤、柱穴が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器等が出土している。

4. 嘉祥神社本殿 桃山建築様式を伝える江戸時代初期の神社建築物。大阪府指定文化財。

**5. 船岡山南遺跡** 田尻町の南東部、泉佐野市に広がる標高8m～10mに位置する弥生時代～中世にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市域で調査がおこなわれているが、遺構は検出されていない。遺物は上師器、瓦器が出土している。

**6. 藤波遺跡** 田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～12mに位置する中世の遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で、溝、ピットが検出されている。遺物は瓦器、上師器、陶磁器が出土している。

**7. 吉見蘆陣屋跡** 田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高4m～5mに位置する中世～近世にかけての遺物散布地である。これまでの調査では、粘土探査などが検出されている。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器が出土している。

**8. 羽倉崎遺跡** 田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高3m～6mに位置する古墳時代の遺物散布地である。これまでの調査では、遺構は検出されていない。遺物は土師器が出土している。

**9. 横井西遺跡** 田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～11mに位置する弥生～中世の遺跡である。これまでの泉佐野市教育委員会の調査で、弥生時代中期の方形周溝墓、中世の掘立柱建物址などが検出されている。遺物は、弥生土器、上師器、須恵器、黒色土器、瓦器、陶磁器が出土している。

**10. 林寺遺跡** 田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高2m～4mに位置する近世墓地跡である。近代に移転された。これまでの調査により土壙、スキ溝などが検出されている。遺物は、陶磁器のほか弥生土器、土師器が出土している。

〔参考文献〕	書名	編集・発行	発行年
「泉佐野市所在遺跡発掘調査概要Ⅰ」	泉佐野市教育委員会	1981.3	
「昭和56年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ」	泉佐野市教育委員会	1982.3	
「大阪府文化財調査概要 1984年度」所収			
「田山遺跡発掘調査概要 付章 田尻遺跡の調査」	大阪府教育委員会	1985.3	
「昭和60年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅵ」	泉佐野市教育委員会	1986.3	
「大塚池遺跡発掘調査報告書」	泉佐野市教育委員会	1986.3	
「昭和61年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅶ」	泉佐野市教育委員会	1987.3	
「昭和62年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅷ」	泉佐野市教育委員会	1988.3	
「昭和62年度 田尻遺跡・船岡山遺跡発掘調査概要」	大阪府教育委員会	1988.3	
「昭和63年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅹ」	泉佐野市教育委員会	1989.3	
「平成2年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要」	泉佐野市教育委員会	1991.3	
「東南郡遺跡群発掘調査概要・Ⅲ」	大阪府教育委員会	1993.3	
「田尻遺跡発掘調査概要」	田尻町教育委員会	1994.7	
「泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成6年度」	泉佐野市教育委員会	1995.3	
「泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 第22号」	泉佐野市教育委員会	1996.3	
「泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成9年度」	泉佐野市教育委員会	1998.3	
「泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成10年度」	泉佐野市教育委員会	1999.3	

遺跡地名表

番号	遺跡名	種類	時代	地目	立地	摘要
1	田尻遺跡	散布地	古墳	田・宅地	平地	土師器、須恵器(散布地)
2	大崎池遺跡	散布地	弥生～小墳	墓地・祭祀地	平地	土器、須恵器、瓦器(佐野三番倉)
3	龜岡山遺跡	散布地	绳文～弥生	田・祭祀地	平地	サスカイト(散布地)
4	春日神社本殿	建造物	近世		平地	前指定布影文史財(昭和50年3月1日)
5	龜岡山南遺跡	散布地	弥生～古墳	田・沼澤	平地	
6	麻渡遺跡	散布地・集落跡	中世	田	平地	
7	吉見篠障尾跡	散布地・障壁跡	中世	宅地	平地	現況は春日神社と既存集落
8	羽折崎遺跡	散布地	古墳	宅地	平地	
9	群井西遺跡	集落跡	弥生～中世	田	平地	
10	林寄遺跡	その他の墓	近世	宅地	平地	陶磁器、弥生土器

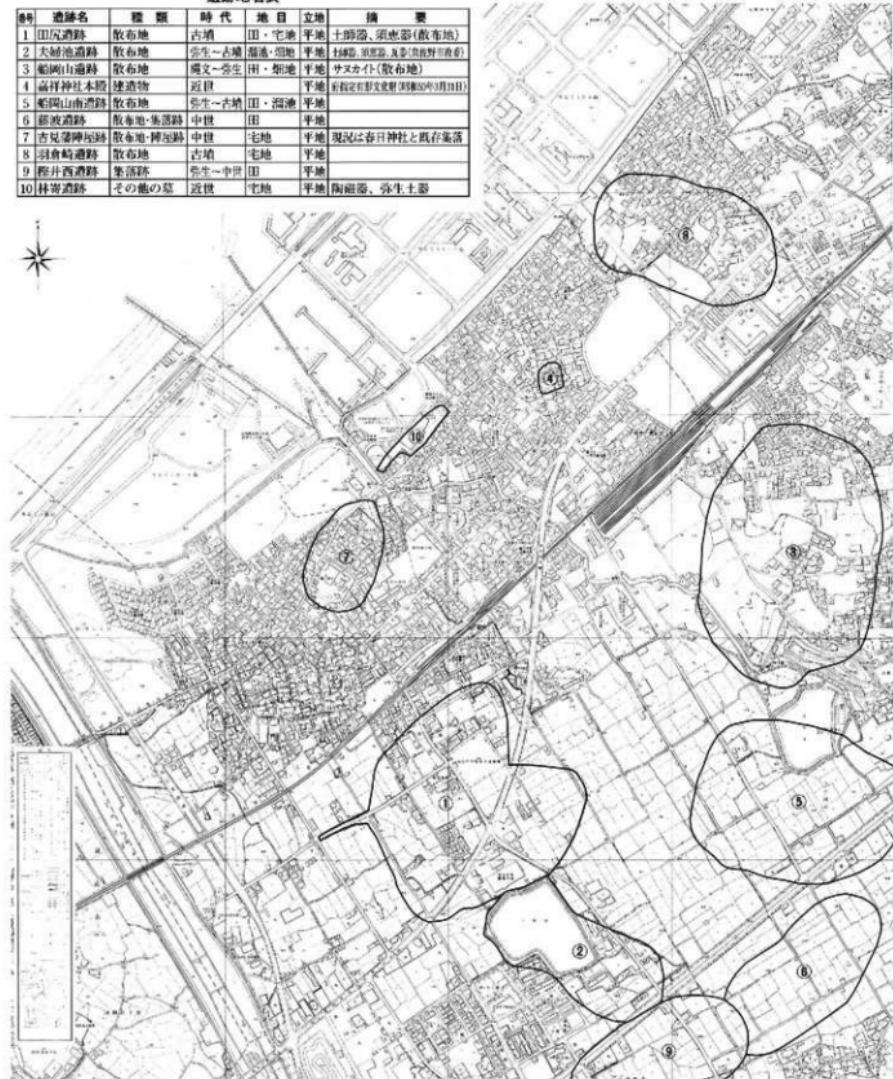


図2 遺跡分布図

## 第2章 調査の概要

### 各種開発確認調査01

1. 遺跡名 範囲外

2. 申請者 民間開発事業者

3. 調査地 田尻町大字嘉祥寺703

番地の1の一部

4. 調査原因 分譲住宅の建築

5. 申請面積 481m<sup>2</sup>

6. 調査面積 12m<sup>2</sup>

7. 調査期間 平成15年4月25日

8. 調査機関名 田尻町教育委員会

9. 調査担当者 社会教育課文化財保護係

中野篤史・阪田裕美子

### 10. 調査の概要

今回の調査地の近くには桃山時代の建築様式を伝える大阪府指定有形文化財嘉祥神社本殿④や近世墓地跡の林寄遺跡⑩があり、また真光寺という寺院に隣接しているため、付近に遺跡が存在する可能性が高いと思われる地域である。調査地は、以前に紡績会社の社員寮が建築されていた経緯があり、かなりのかく乱を受けているものと思われた。

調査は申請地の道路計画地に幅1.5m、長

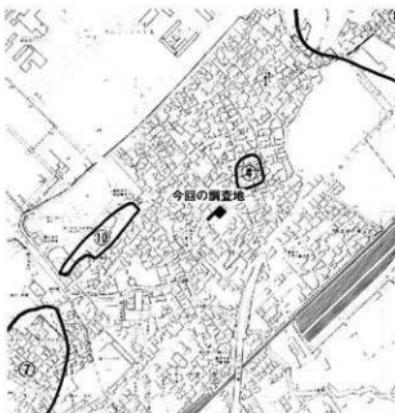


図3 調査地点位置図 (1/10,000)

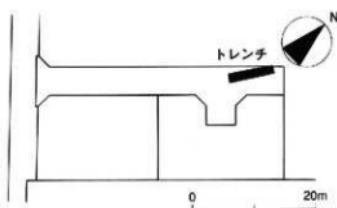


図4 トレンチ設定図 (1/800)

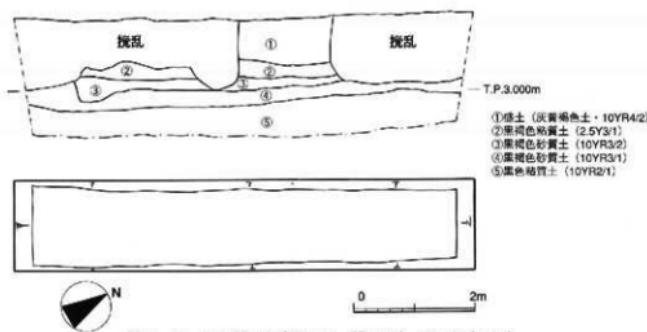


図5 トレンチ断面図(縦1/40、横1/80)・平面図(1/80)

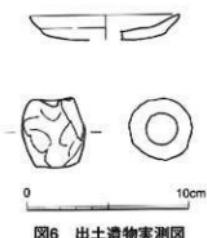


図6 出土遺物実測図

さ8mの調査区を設定し、機械で表土を除去したのち、人力にて掘削し遺構及び遺物の検出に努めた。調査区の層序は、上から灰黄褐色土(10YR4/2、層厚約40cm)、黒褐色粘質土(2.5Y3/1、層厚約15cm)、黒褐色砂質土(10YR3/2、層厚約10cm)、黒褐色砂質土(10YR3/1、層厚約15cm)、黒色粘質土(10YR2/1、層厚約30cm)の順に堆積している。遺構は検出されなかった。遺物は包含層より土師皿(図6)や土師質土錐(図6)、陶器などの破片が出土している。

#### 各種開発確認調査02

1. 遺跡名 範囲外
2. 申請者 田尻町長 水野和夫
3. 調査地 田尻町大字嘉祥寺432番  
地の1
4. 調査原因 保育所建設
5. 申請面積 2,200m<sup>2</sup>
6. 調査面積 80m<sup>2</sup>
7. 調査期間 平成15年7月31日～  
8月1日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査担当者 社会教育課文化財保護係  
中野篤史・阪田裕美子
10. 調査の概要

今回の調査は、田尻町立幼稚園・保育所の建替え第2期工事に伴う開発確認調査である。

調査地付近には吉見蒲陣屋跡⑦や林寄遺跡⑩がある。

調査は予定地に調査区を2ヶ所設定して、80m<sup>2</sup>を調査した。調査はトレンチ1、トレンチ2とも機械にて表土を除去したのち人力にて掘削し、遺構・遺物の検出に努めた。調査区ごとに概要を報告する。

トレンチ1 今回の調査地の南側に幅1.5m、長さ20mの調査区を設定し40mについて調査を

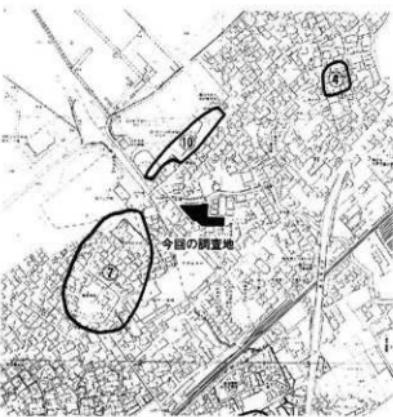


図7 調査地点位置図 (1/10,000)

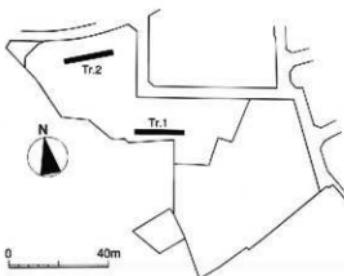


図8 トレンチ設定図 (1/1600)

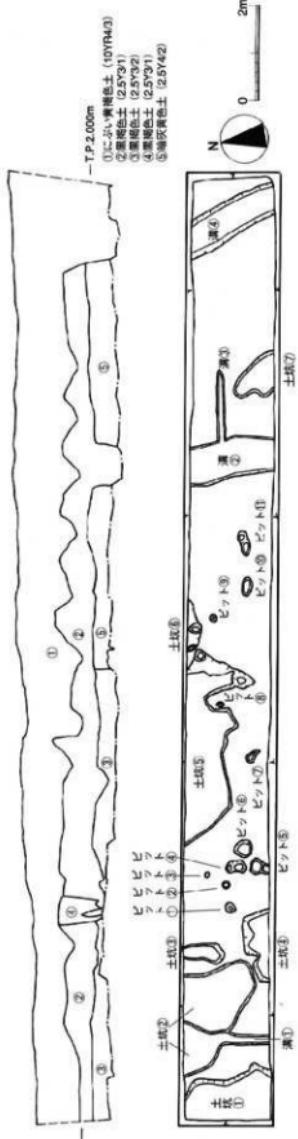


図9 Tr.1 断面図(縦1/40、横1/100)・平面図(1/100)

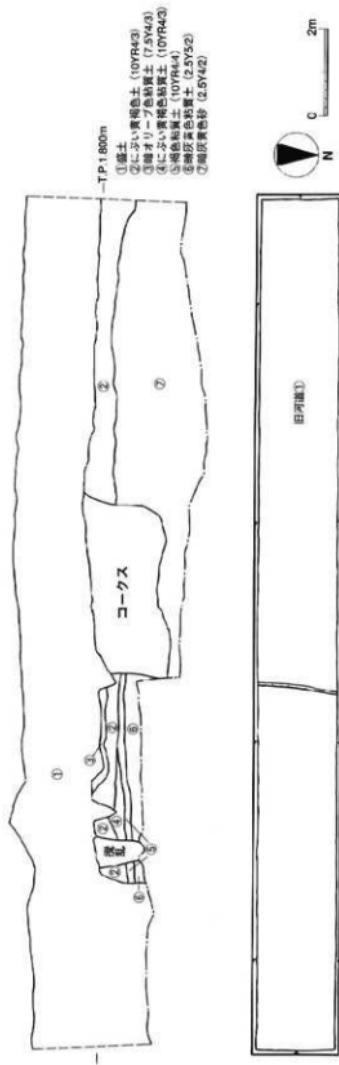


図10 Tr.2 断面図(縦1/40、横1/100)・平面図(1/100)

実施した。土層の堆積状況は上からにぶい黄褐色土(10YR4/3、層厚約30cm)、黒褐色土(2.5Y3/1、層厚約25cm)、黒褐色土(2.5Y3/2、層厚約20cm)の順である。遺構は近世の遺構を検出した。検出した遺構は、不定形な土坑7、ビット11、溝4である。深さがいずれも5cmほどの遺構である。上坑1は調査区の西部から検出。形は不定形で深さ7cmを測る。埋積土は黒褐色土。土坑2は調査区の西部から検出。形は不定形で深さ5cmを測る。埋積土は黒褐色土。上坑3は調査区の西部から検出。形は不定形で深さ5cmを測る。埋積土は黒褐色土。土坑4は調査区の西部から検出。形は不定形で深さ4cmを測る。埋積土は黒褐色土。土坑5は調査区の中央部で検出。形は不定形で深さ6cmを測る。埋積土は暗灰黄色土。土坑6は調査区の中央部で検出。形は不定形で深さ6cmを測る。埋積土は暗灰黄色土。溝7は調査区の東部から検出。形は不定形で深さ10cmを測る。埋積土は暗灰黄色土。溝2は調査区の西部で検出。南北方向の溝。幅20cm、深さ5cm。埋積土は黒褐色土。溝3は調査区の中央部で検出。東西方向の溝。幅18cm、深さ4cm。埋積土は黒褐色土。溝4は調査区の東部で検出。南北方向の溝。幅75cm、深さ7cm。埋積土は黒褐色土。溝1と3はスキ溝、溝2と4は幅と方向がほぼ同じであり、なんらかの区画を示す溝と思われる。

遺構からの遺物は、溝4から須恵質土器の細片が出土したが、他の遺構から遺物は出土していない。遺構検出面からみて、近世以降の時代に属する遺構であると判断される。また、包含層中より急須の蓋と思われる陶器片(図11)が出土している。

トレンチ2 調査の北側に幅1.5m、長さ20mの調査区を設定し40mについて実施した。調査区の層序は上から盛土(層厚約70cm)、暗オリーブ色粘質土(7.5Y4/3、層厚約5cm)、にぶい黄褐色土(10YR4/3、層厚約10cm)、にぶい黄褐色粘質土(10YR4/3、層厚約10cm)、褐色粘質土(10YR4/4、層厚約5cm)、暗灰黄色粘質土(2.5Y5/2、層厚約5cm)、暗灰黄色砂(2.5Y4/2、層厚約80cm、旧川道の堆積か?)の順である。中央部から西側については、紡績工場跡の敷地内でよく確認されるコーケスが埋められてあった。それを除去すると旧河道かと思われる砂層が堆積している。遺物は出土していない。

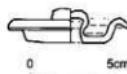


図11 出土遺物実測図

#### 各種開発確認調査03

1. 遺跡名 個人開発事業者
2. 申請者 金田秀明
3. 調査地 田尻町大字吉見384、386、387番地の1の一部
4. 調査原因 福祉施設の建設
5. 申請面積 2,986m<sup>2</sup>
6. 調査面積 120m<sup>2</sup>

7. 調査期間 平成15年10月21日～23日、11月7日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査担当者 社会教育課文化財保護係  
中野篤史・阪田裕美子

#### 10. 調査の概要

今回の調査地付近には田尻遺跡があり弥生時代から古墳時代の遺構が存在する可能性の高い地域である。

調査は、開発計画区域内に3ヶ所の調査区を設定し、120m<sup>2</sup>について調査を実施した。各調査区とも機械にて表土を除去した後、人力にて掘削し、遺構・遺物の検出に努めた。調査区ごとに概要を報告する。

##### トレンチ1

開発区域の南側

に幅2m、長さ20mの調査区を設定し40m<sup>2</sup>について調査を実施した。土層の堆積状況は上から耕土（層厚約15cm）、にぶい黄褐色砂質土（層厚約5cm）、灰黄褐色砂質土（10YR4/2、層厚約12cm）、にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3、層厚約10cm）、灰黄褐色砂質土（10YR4/2、層厚約20cm）、褐色粘質土（10YR4/4、層厚約40cm）の順に堆積している。遺物は須恵器、土師器、瓦器等の細片が出土している。

トレンチ2 開発区域の中央部に幅2m、長さ20mの調査区を設定し40m<sup>2</sup>について調査を実施した。土層の堆積状況は上から耕土（層厚約15cm）、にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3、層厚約7cm）、暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2、層厚約10cm）、にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3、層厚約12cm）、灰黄褐色砂質土（10YR4/2、層厚約20cm）、にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3、層厚約25cm）、褐色粘質土（10YR4/1、層厚約35cm）の順に堆積している。遺物は土師器、須恵器、瓦質羽釜、瓦等の細片が出土している。

トレンチ3 開発区域の北部に幅2m、長さ20mの調査区を設定し40m<sup>2</sup>について調査を実施した。土層の堆積状況は上から盛土（層厚約15cm）、灰黄褐色砂質土（10YR4/2、層厚約15cm）、灰黄褐色粘質土（10YR4/2、層厚約10cm）、暗灰黄色粘質土（2.5Y4/2、層厚約12cm）、にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3、層厚約20cm）の順に堆積している。遺物は須恵器、土師器の細片が出土してい



図12 調査地点位置図 (1/10,000)

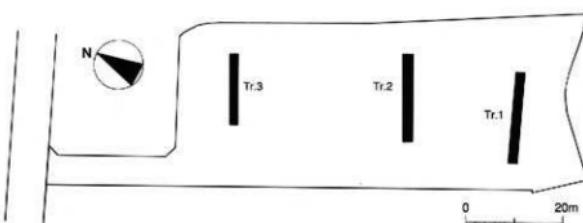


図13 トレンチ設定図 (1/1000)

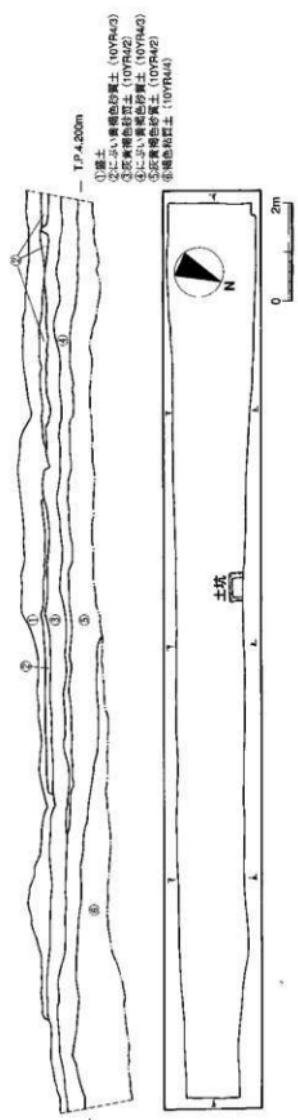


図14 Tr.1 断面図(縦1/40、横1/100)・平面図(1/100)

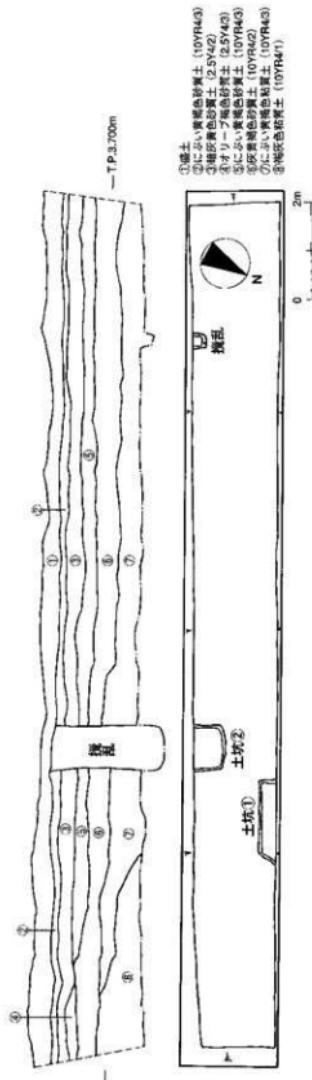


図15 Tr.2 断面図(縦1/40、横1/100)・平面図(1/100)

る。

今回の調査地は現況では、耕作地となっているため、水平であるが、土層の堆積状況から東から西へと落ち込む地形であることが判明した。須恵器、土師器、瓦器の細片が出土していることから、付近には遺跡があるものと思われる。

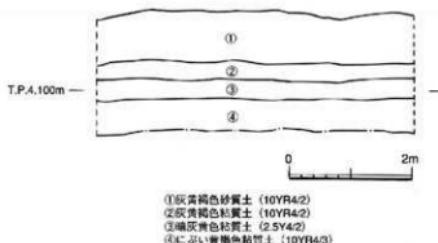


図16 Tr.3断面略図 (縦1/40、横1/100)

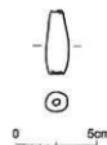


図17 Tr.3出土遺物実測図

#### 各種開発確認調査04

1. 遺 跡 名 範囲外
2. 申 請 者 民間開発事業者
3. 調 査 地 田尻町大字嘉祥寺1120-12、1120-13、大字吉見705-9、1012-7の一部
4. 調 査 原 因 分譲住宅の建築
5. 申 請 面 積 19,954.29 m<sup>2</sup>
6. 調 査 面 積 30 m<sup>2</sup>
7. 調 査 期 間 平成15年12月8日
8. 調 査 機関名 田尻町教育委員会
9. 調査担当者 社会教育課文化財保護係  
中野篤史・阪田裕美子
10. 調査の概要

今回の調査地は、吉見藩陣屋跡のすぐ側の旧海岸線に位置している。以前この地には、吉見紡績株式会社（旧谷口綿布工場）が建てられていた場所であり、すぐ近くには登録文化財田尻歴史



図18 調査地点位置図 (1/10,000)

館（旧谷口家古見別邸、大正12年頃建築）がある。工場跡地には今もレンガの基礎が草に埋もれ残っている。

調査は、旧海岸線に近いということもあり、旧街道（孝子越街道）沿いの開発区域内に幅1.5m、長さ10mのトレンチを2ヶ所設定し、30㎥について調査を実施した。掘削機械により表土等1m以上掘削したが、砂層（砂浜）の堆積で遺構、遺物は検出できなかった。

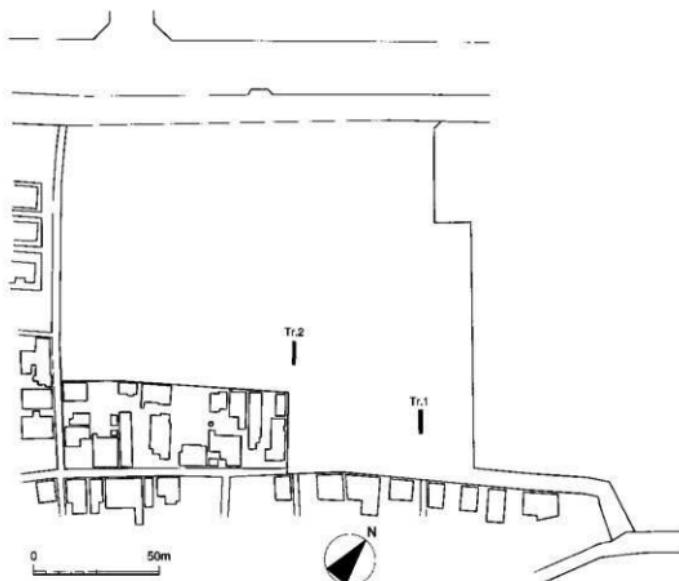


図19 トレンチ設定図(1/2000)

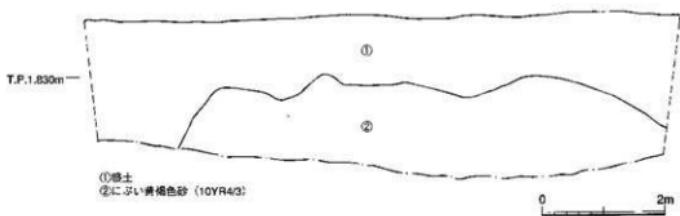


図20 Tr.1 断面図(縦1/40、横1/80)

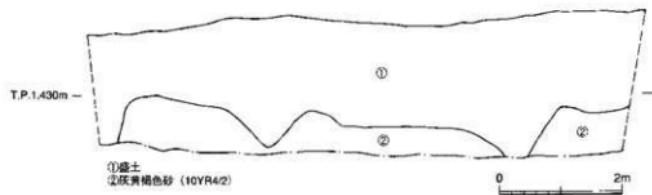


図21 Tr.2 断面図(縦1/40、横1/80)

### 第3章 調査のまとめ

調査の結果、近世以降の遺構について検出することができた。しかし、発掘調査対象となる中世以前の遺構については検出することができなかった。確認調査01の地点では、遺構は検出できなかったが、遺物包含層中より土師皿や土師質の管状土錐などが出土していることや、隣接地には真光寺（現本堂は江戸時代）、嘉祥神社（本殿は大阪府指定文化財）などが所在することから、付近には遺跡の存在する可能性が高いことが、また、確認調査02、03の地点では近世以降の遺構が検出され、調査地点付近での近世以降の利用状況を確認することができた。今後の周辺部における確認調査の進展を期すものである。

# 図 版



調査地遠景（各種開発確認調査01）



トレンチ1全景（各種開発確認調査01）



調査地遠景（各種開発確認調査02）



トレンチ1全景（各種開発確認調査02）



トレンチ2全景（各種開発確認調査02）



調査地遠景（各種開発確認調査03）



トレンチ1全景（各種開発確認調査03）



トレンチ2全景（各種開発確認調査03）



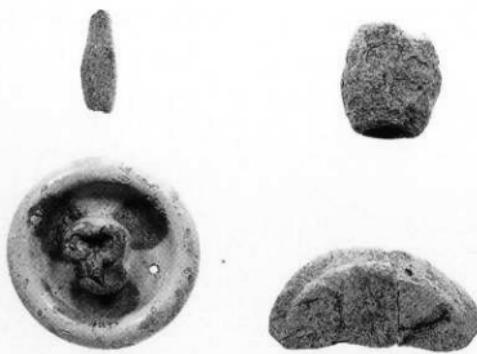
トレンチ1全景（各種開発確認調査04）



トレンチ2全景（各種開発確認調査04）



レンガ造り基礎跡（各種開発確認調査04）



出土遺物（各種開発確認調査01、02、03）

# 報 告 書 抄 錄

ふりがな	たじりちようないいせきぐんはっくつちようさがいとう							
書名	田尻町内遺跡群発掘調査概要							
副書名								
巻次	5							
シリーズ名	田尻町文化財調査報告							
シリーズ番号	第10集							
編著者名	中野篤史							
編集機関	泉南郡田尻町教育委員会							
所在地	大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の1							
発行年月日	2004年3月31日							
所取遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡番号					
遺跡外01	大阪府 泉南郡 田尻町 嘉祥寺			34° 23' 587"	135° 17' 587"	平成15年 4月25日	12	分譲住宅の 建築
遺跡外02	大阪府 泉南郡 田尻町 嘉祥寺			34° 23' 381"	135° 17' 550"	平成15年 7月31日～ 8月1日	80	保育所の建 設
遺跡外03	大阪府 泉南郡 田尻町 青見			34° 23' 054"	135° 17' 449"	平成15年 10月21日～ 10月23日、 11月7日	120	福祉施設の 建設
遺跡外04	大阪府 泉南郡 田尻町 青見			34° 23' 450"	135° 17' 326"	平成15年 12月8日	30	分譲住宅の 建築
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
遺跡外01			なし	土師器、陶器				
遺跡外02			上坑、ピット、溝	陶器		近世、近代		
遺跡外03			土坑	土師器、須恵器、瓦器、瓦		近世		
遺跡外04			なし	なし				

田尻町文化財調査報告 第10集

田尻町内遺跡群発掘調査概要 5

2004年3月

編集・発行 泉南郡田尻町教育委員会

〒598-8588

大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の1

TEL0724-66-1000（代表）

印 刷 株式会社小笠原印刷

大阪府泉佐野市上瓦弓646番地

